

慶應SDM開設10年記念公開講座

入場無料

日本発 空飛ぶクルマ ‘SkyDrive’ 開発への 挑戦、そしてその先へ

定員200名
事前登録制

定員になり次第、受付を終了します

《ゲストスピーカー》

有志団体CARTIVATOR 共同代表

中村 翼 氏

モデレータ：
SDM教授 中野 冠



2019年7月19日(金) 19:00~20:30

慶應義塾大学日吉キャンパス 独立館DB201教室

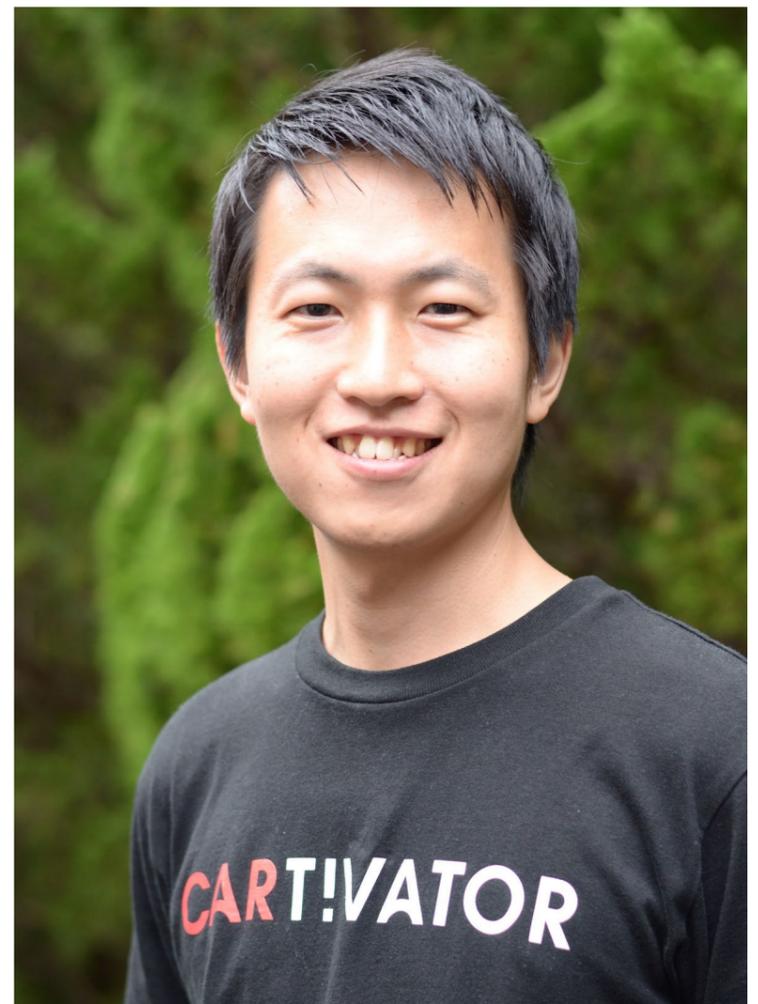
(18:30開場)

＜中村翼氏 プロフィール＞

幼少期にフェラーリに憧れて自動車エンジニアを志し、2009年に大手自動車会社に入社。量産車設計に関わる一方、2012年に業務外の有志団体CARTIVATORを設立し、2014年から空飛ぶクルマの開発を始める。2050年までに誰もが飛べる時代を創ることを目指し、2020年の目標として、東京五輪で空飛ぶクルマを使った聖火点灯を行うことを目指している。2017年からは慶應義塾大学大学院SDM研究科にて空飛ぶクルマの事業化研究も開始し、2019年からは特任助教を務める。

＜講演概要＞

自動車や航空業界、ベンチャー企業など、各分野の専門家が集まった有志団体CARTIVATORが挑戦する、空飛ぶクルマの開発について紹介する。本活動は『モビリティを通して次世代の人達に夢を提供する』ことをミッションに、総勢100名超のメンバーがボランティアで、平日夜や週末の時間を使って開発を進めているものである。本講演前半では、近い将来の実現が期待されている空飛ぶクルマのコンセプトや将来ビジョン、メカニズムといった話をはじめ、本活動がどのような想いで始まったのか、またどんな困難があり、どのように乗り越えてきたのかといったストーリーを余すことなくお伝えする。また後半では、2017年から始めたSDM研究科・空飛ぶクルマラボでの研究内容を紹介し、空飛ぶクルマが解決する社会課題や、実現に必要なエコシステムの全体像、さらには必要な技術要素などを紹介し、社会実装に向けた取り組みについて概説を行う。



お申し込み：慶應SDMホームページよりご登録ください。

お問い合わせ先：慶應義塾大学日吉学生部 大学院担当
Phone：045-564-2518